

佐伯市文化財調査報告書

山田平之丞氏旧蔵資料目録

佐伯市教育委員会



序

佐伯市教育委員会教育長 森 脇 一 郎

私が山田平之丞先生を知ったのは、中学生の頃でした。先生のご長男と同輩ということもあって、時々家を訪ねましたが、一度も話を交わすこともなく、いたづらをして我関せずといった様子で、いつも私たちとは、別の所に住んでいる感じがしておりました。

唯、印象に残っているのは、飄々として古びた書物を小わきに抱え歩いていたことくらいで、普通のおやじとは、ちよつと違うなということくらいでした。

しかし、今こうして、先生の旧蔵資料目録を手にとってみると、やはり、そうであったのかと改めて、先生の歴史や世事に対しての識見の深さを思い知らされます。先生の残された所蔵資料は、他にない、郷土史研究の糧として貴重なものであり、佐伯の生きた文化財ともなっております。

今般、二男の稔さんから寄贈いただいた、約五〇〇余冊の蔵書を資料と共に、保存し活用していくことを祈念して目録を作成しましたので、多くの方々にご利用戴ければ幸甚に思います。改めて、山田稔さんへお礼申し上げます。

なお、この資料目録は国文学研究資料館のご協力により、井上敏幸先生、ロバート・キャンベル先生、高橋昌彦先生、岩崎義則先生をお迎えして、作成されたものであります。厚くお礼を申しあげます。

平成九年三月

目次

序文……………	3
目次・凡例……………	4
I. 山田平之丞著作・草稿……………	5
II. 学校関係……………	14
III. 郷土……………	23
IV. 和本・書籍……………	30
V. 逐次刊行物……………	50
VI. パンフ・案内・新聞……………	56
VII. 絵葉書・写真……………	60
VIII. 古文書……………	66
IX. 書簡……………	70
X. その他（スクラップ・器物）……………	72

凡例

一、資料は、I. 山田平之丞著作・草稿、II. 学校関係、III. 郷土、IV. 和本・書籍、V. 逐次刊行物、VI. パンフ・案内・新聞、VII. 絵葉書・写真、VIII. 古文書、IX. 書簡、X. その他（スクラップ・器物）に分類し、それぞれの中で時代の古いもの順に並べた。

一、記載事項は、表題・作者・年代・備考・形態・法量・数量にとどめた。

一、目録カード作成者が適宜付した表題は、（ ）で括り、これを表示した。また同様に、作成者が推定した文書の作成者・年代は（ ）で括り、表示した。なお、法量については明治期以前の古文書についてのみこれを示した。

一、典籍類は、井上敏幸、ロバート・キャンベル、高橋昌彦が担当し、その他の諸資料は岩崎義則が調査にあたった。

I 山田平之丞 著作・草稿

番号

表題

作成者・年代・備考

形態・法冊

数量

1

明治二十八年
佐伯法務局管内神社
I九

(明治二十八年)
鉛筆書き。佐伯市役所用箋に記す

竖帳

一冊

2

第三回懸賞就学出席奨励法・
通俗的社会教育ノ施設
I三三

南海郡教育会
大正元年

書冊

(謄写)

一冊

3

南海郡教育概況
I六

南海郡教育会
大正十二年八月編
藩政時代の教育(佐伯文庫など)か
ら記す

書冊

(野紙箋
ペン書)

一冊

4

[演説原稿]
I一〇

山田平之丞
(大正十四―昭和二年)
南海郡教育会などでの演説草稿類
を合綴。その他特別漁業免許申請理
由書などあり

(ファイ
ル綴じ)

一綴

5

[饗饌下賜の申入]
I四八

宮内大臣一木喜徳郎より小竹尋常小
学校長山田平之丞殿宛
昭和三年十一月一日
その外、参入証一枚、賜饌参列員専
用列車時刻表一枚、資格者心得一枚
あり

一括

四枚

6 南海部郡教育会編児童綴方文集
「心の花」序文
I二八

小竹小学校山田平之丞
昭和五年四月落花の日
表紙と「編輯を終へて」(山田平之丞執筆分)のみの切り貼り

縦帳 一冊
(罫紙)

7 九大農学部伊藤助教依頼
農民ノ社会生活ニ関スル調査回答書
I二九

昭和七年五月
回答書の外、調査依頼書三通を同封。
九大農学部農政経済研究室伊藤兆司氏より浦代尋常小学校校長池部由猪二氏へ依頼されたもの。回答書が山田平之丞の作成カ

一袋 四通

8 複式教授研究会プリント
I四六

小竹尋常小学校
昭和八年十一月二十二日

書冊 一冊
(謄写)

9 「契約書」
I四〇

井沢書店より小竹小学校御中宛
昭和九年五月四日
小学国語読本掛図ほか契約書

一紙 一枚

10 中嶋子玉年譜
I二二

山田平之丞
昭和九年六月秋成る

罫紙縦帳 一冊
(ガリ版)

11 訓練要目
I四二

小竹尋常小学校
昭和九年六月
皇大神宮宮城・朝登校セシトキなど
二十一項目の訓練要目

罫紙縦帳 一冊
(謄写)

12 「案内」
I三七

小竹尋常小学校長山田平之丞
昭和九年九月二十五日
父兄方位宛運動会挙行の案内

一紙 二枚
(謄写)

13 (就学児童異動通知)
I四一

米水津村長(印)より小竹小学校長殿宛

一紙 (謄写) 一枚

昭和九年九月二十五日
足立助成氏の退居届出の通知

14 後学今村孝次述
中嶋子玉先生
I一三

今村孝次
南海部教育会

小冊子 一冊

昭和九年十月三十日

山田平之丞編「中嶋子玉年譜」を収録す

15 (甲詞草稿)
I三九

(山田平之丞)

昭和九年十一月十四日、渡辺松五郎翁の葬儀に際して

野紙半折 一枚 (鉛筆)

16 複式教授研究
I五

小竹尋常小学校長山田平之丞
昭和九年十一月十六日

冊子 一冊 (ガリ版)

17 (草稿)
I三五

(山田平之丞)
演舌草稿カ。昭和十年元日勲章伝達に際して

野紙半折 二枚 (鉛筆)

18 大分県南海部郡青年訓練所
聯合演習計画案
I四四

南海部郡教育会
昭和十年二月

野帳 一冊 (謄写)

19 応召兵士慰問文綴
I一七

昭和十二年九月以降
小竹小学校長山田平之丞慰問文をはじめ「小竹ニュース」二六輯(昭和十五年二月)までを合綴

(ガリ版) 一綴

20

重岡村雜記
I一五

豎帳

一冊

21

雜草
I一七

昭山人

(昭和二十六年)

訪碑録・書き抜き・新聞切抜きなど
その他賞状などをフィルムにて同折

冊子
(横とじ)

一冊

22

すいで
I一一

昭山人

昭和二十六年秋
郷土わらべ歌などを記す。手書き

冊子
(横とじ)

一冊

23

御給人御奉公被召成候年月書上留写
I一二

平之丞(写)

昭和二十六年七月一日風雨の日書写
宝永六年六月付の文書の写。墨書き

豎帳

一冊

24

ごうな
I一四

昭山人

昭和二十九年春
江戸・明治時代の諸記録からの書き
抜き。鉛筆手書き

豎帳

一冊

25

鶴見村誌
III三九

山田平之丞編

昭和三十年八月序

冊子

一冊

26

本匠村誌
I二二

山田平之丞

昭和三十三年二月

冊子

一冊

27 (佐伯靈場道知るべ書抜)

I一九

山田氏(写)
昭和三十三年五月謄写
佐藤鶴谷著「佐伯靈場道知るべ八十八ヶ所詠歌」(大正十三年一月版)よりの書き抜き。鉛筆書き
冊子
(寫紙)
一冊

28 佐伯うまい物帖

III七

山田平之丞
佐伯市商工觀光課
昭和三十四年四月
一冊

29 佐伯地方に於ける
神武東征の遺蹟 外

I一

山田平之丞
鶴岡郷土史研究会
昭和三十四年七月七日
冊子
一冊

30 龍溪記・冷水山東方坊

I一

山田平之丞
昭和三四巳亥、盆十六日
裏見返しに写真三枚を貼付す
冊子
(謄写)
一冊

31 佐伯武豪銘々伝

I二四

山田平之丞
昭和三十四年「佐伯新聞」に二九回連載された同名記事の切り抜きを綴る
切抜
一綴

32

(新聞切抜)

I二六

切抜
一点

郷土先哲中島子玉百三十年追慕
3 3
県南吟詠舞大会 (目録)
Ⅲ六

山田平之丞歌集
3 4
いろはにあひもせず
I 四

佐伯出身の宜園門人
3 5
I 八

〔若宮神社関係記事の書拔〕
3 6
I 一六

〔漢詩文〕
3 7
I 一八

蒲江浦沖江 異国船漂流
3 8
乱暴之節入津浦組江
御出馬御行列帳
I 二〇

南海部郡沿海漁区の地理並に
3 9
漁具沿革一斑
I 二二

主催関西吟詩同好会佐伯支部
昭和三十八年十一月十日於佐伯小学
校講堂

山田平之丞
昭和四五稔師走朔日
河野与市への呈諱分カ

小竹小学校長山田平之丞
手書草稿

〔山田平之丞写〕
〔鶴岡村誌〕よりの書き抜き。
佐伯市役所用箋。鉛筆書き

風躰月白など
鉛筆書き

〔山田平之丞写〕
〔昭和期の写〕
嘉永六年九月付の文書の写
ペン書き。佐伯市役所用箋にて

〔山田平之丞写〕
〔昭和期写〕
耕芸居士筆同名論文 (明治二六年二
月) の写。鉛筆書き

冊子 一冊

堅帳 (原稿用紙) 一冊

堅帳 (罫紙) 一冊

堅帳 一冊

堅帳 (罫紙) 一冊

堅帳 (罫紙) 一冊

40

〔因尾村関係文書写〕

I二三

一紙一括 二枚

(山田平之丞写)
〔昭和期写〕
文化七年因尾村関係文書九点の写。
鉛筆書き

41

〔新聞切抜〕

I二五

一括 二六枚

山田平之丞
佐伯二十年史など「佐伯新聞」連載
記事の切り抜き

42

すいで
I二七

切抜 一綴

(山田)平之丞
「週刊佐伯」連載記事「寛龍公の事
ども」ほか平之丞執筆分の新聞切り
抜き

43

〔命名書〕

I三〇

一紙 三枚

山田稔・昭一郎・洋平の命名書

44

山田平之丞先生
郷土史原稿

一綴 一冊

I三一

(山田平之丞著)
佐伯ロータリークラブ、新編佐伯志
第一編の原稿(手稿)
以下I一14はふるしきで一括

12

佐伯藩竈敷及人別
(文化七年三月調)

一綴 一冊

I三一

(山田平之丞稿)
ペン書き、手稿

13

豊後国風土記

一綴 一冊

I三一

(山田平之丞稿)
ペン書き、手稿

1 4 伊能忠敬測量日記

I三一—14

(山田平之丞稿)
ペン書き、手稿

竖帳 一冊

1 5 佐伯藩藩政条目

I三一—15

(山田平之丞稿)
ペン書き、手稿

竖帳 一冊

1 6 佐伯文庫

I三一—16

山田平之丞
ペン書き、手稿

竖帳 一冊

1 7 淡窓と子玉

I三一—17

山田平之丞
ペン書き、手稿

竖帳 一冊

1 8 淡窓と佐伯

I三一—18

山田平之丞
ペン書き、手稿

竖帳 一冊

1 9 御領分中古社神明御鎮座
堂竜作仏御安置年数 覚

I三一—19

(山田平之丞稿)
ペン書き、手稿

竖帳 一冊

1 10 御領分中寺社記

I三一—10

土屋亦兵衛(作)
(山田平之丞稿)
ペン書き、手稿

竖帳 一冊

1 11 佐伯古戦録

I三一—11

(山田平之丞稿)
明治年代「鶴谷叢誌」掲載矢野文雄
の文章をもとに山田平之丞が編述し
たものならん。ペン書き、手稿

竖帳 一冊

12	毛利氏 I三一—12	(山田平之丞稿) 毛利氏家譜。 ペン書き、手稿	縦帳	一冊
13	佐伯氏 I三一—13	(山田平之丞稿) 佐伯氏家譜。 ペン書き、手稿	縦帳	一冊
14	於為半蔵心中口説 I三一—14	(山田平之丞稿) 巻末に山田平之丞の解説あり。 ペン書き、手稿	縦帳	一冊
5	善教寺に眠る 松本城主石川玄蕃頭 I三一—	柴田勝実編・佐伯史談会(発行) 山田平之丞「三百十二年法会」の寄稿を取む	冊子	一冊
6	脚本府内山弥 I三二—	山田白箭 「脚本起滅一瞬 山田九草」の奥書あり。スクラップ	書冊	一冊
7	[礼状様式] I三六—	南海郡郡米水津村小竹青年学校長山田平之丞 青年学校長一同軍隊宿泊の礼状様式	一紙 (謄写)	二枚
8	明るい正しい立憲政治 I三八—	小竹小学校長山田平之丞 選挙更正講演会開催に付ての趣旨	一紙 (謄写)	二枚
9	演習統監部編成表 I四三—	統監大分県知事田口易之閣下など	縦帳 (謄写)	一冊

5 0 南海海部出身大中縁故者
I 四五

(山田平之丞)
山名驥ほか人名書付

野紙竖帳
(鉛筆)
一冊

5 1 国史教授案
I 四七

教授者山田平之丞

書冊
(謄写)
一冊

5 2 古い時代の佐伯
III 二〇

山田平之丞編
諸書ノ写真版ヲ集メタモノ

一冊

II 学校関係

1 作文講話及文範 上
II 七〇

芳賀矢一・杉谷虎蔵編
富山房
明治四十五年七月

一冊

2 実験修身教授法
II 七四

加藤末吉著
良明堂書店
大正二年

一冊

3 新文学百科精講 前後編
II 七二

佐藤義亮編輯、島村抱月他述
新潮社
大正三年四月

二冊

4 尋常小学読本 卷九
II 一九

文部省編
大正三年

一冊

5	尋常小学読本 卷五 II二〇	文部省編 大正三年	一冊
6	尋常小学読本 卷七 II二二	文部省編 大正三年	一冊
7	尋常小学読本 卷十一 II二三	文部省編 大正三年	一冊
8	尋常小学読本 卷四 II三三	文部省編 大正四年	一冊
9	尋常小学読本 卷六 II三四	文部省編 大正四年	一冊
10	尋常小学読本 卷八 II三五	文部省編 大正四年	一冊
11	尋常小学読本 卷十 II三六	文部省編 大正四年	一冊
12	尋常小学読本 卷十二 II三七	文部省編 大正四年	一冊
13	尋常小学語読本 卷一 II三八	文部省編 大正七年	一冊
14	尋常小学語読本 卷八 II三九	文部省編 大正十年	一冊

- 15 普通 學校國語読本 卷四
II二〇
- 16 普通 學校國語読本 卷一
II三一
- 17 普通 學校國語読本 卷二
II三二
- 18 普通 學校國語読本 卷五
II三一
- 19 普通 學校國語読本 卷六
II三四
- 20 普通 學校國語読本 卷七
II三五
- 21 普通 學校國語読本 卷八
II三六
- 22 現代國語読本 卷一―四
II四六
- 23 普通 學校國語小読本 卷五
II四〇

- 朝鮮總督府編
大正十一年
- 朝鮮總督府編
大正十二年
- 朝鮮總督府編
大正十二年
- 朝鮮總督府編
大正十二年
- 朝鮮總督府編
大正十二年
- 朝鮮總督府編
大正十二年
- 朝鮮總督府編
大正十三年
- 八波則吉編
東京開成館版
大正十三年刊
- 芦田恵之助
蘆田書店版
大正十四年刊

- 一冊
- 一冊
- 一冊
- 一冊
- 一冊
- 一冊
- 一冊
- 四冊
- 一冊

24

小学国語読本 卷二
II二七

文部省編
大正十五年

一冊

25

小学国語小読本 卷十六
II四一

芦田惠之助
蘆田書店版
大正十五年刊

一冊

26

小学国語小読本 卷七
II四二

芦田惠之助
蘆田書店版
大正十五年刊

一冊

27

大正德行録
II六九

宮内大臣官房編纂
内閣印刷局
大正十五年五月

一冊

28

小学国語小読本 卷八
II四三

芦田惠之助
蘆田書店版
昭和一年刊

一冊

29

小学国語小読本 卷九
II四四

芦田惠之助
蘆田書店版
昭和二年刊

一冊

30

小学国語小読本 卷十
II四五

芦田惠之助
蘆田書店版
昭和二年刊

一冊

31

小学国語読本 卷三
II三八

文部省編
昭和三年

一冊

- | | | | |
|-----|--------------------------------------|------------------------------------|----|
| 3 2 | 尋常国語読本 卷六
小学国語読本 卷六
II三九 | 文部省編
昭和三年 | 一冊 |
| 3 3 | 国語各課取扱の着眼点
II五二
尋常科第二学年 | 芦田忠之助
蘆田書店版
昭和三年 | 一冊 |
| 3 4 | 国語各課取扱の着眼点
II五三
尋常科第三学年 | 芦田忠之助
蘆田書店版
昭和三年 | 一冊 |
| 3 5 | 小学国史教師用書 上卷
II五〇 | 文部省編
昭和六年 | 一冊 |
| 3 6 | 尋常国語読本編纂趣意書
小学国語書き方本編纂趣意書
II六六 | 文部省編纂
東京書籍株式会社
昭和六年四月 | 一冊 |
| 3 7 | 劳作教育
II六〇 | 小西重直著・玉川学園出版部
昭和六年七月
玉川叢書第九篇 | 一冊 |
| 3 8 | 小学国史教師用書 中卷
II五一 | 文部省編
昭和七年 | 一冊 |
| 3 9 | 明治小学教育書目録
II五四
再版 | 宮木宥一
昭和七年刊 | 一冊 |

4 0 訂正祝詞式講義

II七三

春山讀母講述
櫻園書院藏版
昭和八年三月

一冊

4 1 幼学綱要上・中・下・付録 四卷

II六八

吉川弘文館
宮内省藏版
昭和九年十二月

四冊

4 2 尋常小学校修身書卷二編纂趣意書

II六一

文部省
昭和十年二月

一冊

4 3 婦女鑑上・中・下 三卷

II六七

西村茂樹編纂
吉川弘文館
宮内省御藏版
昭和十年二月

三冊

4 4 課程級方教育の眞髓

II五九

沖垣寛編著
同志同行社
昭和十年十一月

一冊

4 5 尋常小学算術

II五五

下
第一学年教師用

文部省編
昭和十年刊

一冊

4 6 尋常小学算術

II五六

下
第一学年教師用

文部省編
昭和十年刊

一冊

4 7 国語教育講話

II七一

垣内松三著
同志同行社
昭和十一年一月

一冊

4 8	口語法別記 Ⅱ五八	文部省国語調査委員会編纂 大日本図書株式会社 昭和十一年	一冊
4 9	大分中学校同窓会報第五号 Ⅱ一	大分中学校同窓会 昭和十二年十二月	一冊
5 0	樺太郷土読本 Ⅱ五七	樺太教育会編 昭和十二年刊	一冊
5 1	〔大分中学校同窓会報付録移動簿〕 Ⅱ二	大分中学校同窓会 昭和十五年十一月	一枚
5 2	男女の交際と礼儀 Ⅱ七五	文部省純潔教育分科審議会 昭和二十五年十二月	一冊
5 3	上野丘創刊五周年号 Ⅱ三	上野丘社 昭和二十九年五月	一冊
5 4	上野丘暑中特集号 Ⅱ四	上野丘社 昭和三十五年八月	一冊
5 5	上野丘高新聞 Ⅱ五	上野丘高新聞編集部 昭和三十六年十一月二十五日	一枚
5 6	大分県立大分上野丘高等学校復興建設資金 寄附募集趣意書 Ⅱ七	同窓会理事長「宮金一郎」 昭和三十六年十一月二十日	一枚

57	上野丘高新聞 II六	上野丘高新聞編集部 昭和三十八年一月十日	一枚
58	全国図書教材販売協議会挨拶状 II八	同協議会事務局長清水厚実 昭和三十九年四月二十六日	一通
59	家庭教育に関する学習事例集 II七六	文部省社会教育局 昭和四十七年三月	一冊
60	会員名簿 II九	佐伯鶴城同窓会事務局 昭和五十六年七月	一冊
61	昭和五十七年度 卒業生名簿 II一〇	佐伯市立上堅田小学校	一冊
62	佐伯鶴城 部活動史 II一一	佐伯鶴城高等学校 昭和五十八年六月	一冊
63	進研模試 II一二	福武書店 昭和五十八年七月	一冊
64	大分県 昭和五十八年三月高等学校卒業生 進学表 II一三	大分県高等学校進学指導協議会編 昭和五十八年五月	一冊
65	昭和五十八年度 大学等入学試験者 および合格者数最終集計表 II一四	大分県立佐伯鶴城高等学校進路指導 部編	一冊

昭和五十八年度
大学への道 第1集

大分県立佐伯鶴城高等学校校進路指導
部編

一冊

昭和五十八年度
大学への道 第2集

大分県立佐伯鶴城高等学校校進路指導
部編

一冊

昭和五十八年度
新入生名簿

佐伯市立佐伯城南中学校編

一冊

昭和五十八年度
入学案内

佐伯城南中学校編

一冊

常用漢字表
仮名遣改定案
漢語整理案

臨時国語調査会
育英書院

一冊

小学国語読本尋常科用卷三編纂趣意書
小学書方手本尋常科用第二学年上
編纂趣意書

文部省

一冊

小学国語読本尋常科用卷四編纂趣意書
小学書方手本尋常科用第二学年下
編纂趣意書

文部省

一冊

7 2 小学国語読本尋常科用卷四編纂趣意書
小学書方手本尋常科用第二学年下

編纂趣意書
II六四

7 3

小学国語読本尋常科用卷五編纂趣意書
小学書方手本尋常科用第三学年用上

編纂趣意書
II六五

文部省

一册

III 郷土

1

郷土唱歌
III一

青焼

三葉

2

神廣瀬中佐詳傳
III五六

一册

3

大分県勤王家小傳
III四〇 附大分縣偉人小伝

一册

4

戦之跡
III四一

一册

5

佐伯先哲小傳
III一

一册

6

郷土讀本
I昭和二年度木立校 I
III三三

一册

佐伯町士族石丸敏一
明治三十六年十月十四日

大分県教育会編纂
東京市金港堂
明治三十八年二月

大分県
大正九年

橋爪兼太郎著
大分市高山活版社
大正十二年十一月

南海部都先哲頌徳會
大正十二年三月

昭和四年序

- | | | | |
|----|-------------------------------|---------------------------------|-----------|
| 14 | 昭和七・八年滿洲派遣
歩兵第四十七聯隊
三五七 | 聖戰記 | |
| 13 | 党人郷記
三五二 | | |
| 12 | 勤王志士青木猛比古
三三五 | | |
| 11 | 梅牟礼実録 全
三三四 | | |
| 10 | 昭和五年
大分県統計書 第二編
三四二 | | |
| 9 | 佐伯方言集
三二八 | | |
| 8 | 峰青嵐遺稿
三五一 | 箱人 | 一冊 |
| 7 | 龍溪矢野文雄君伝
三五三 | 小栗又一編
春陽堂
昭和五年四月 | 一冊 |
| | | 大分県師範学校同窓会
昭和六年九月 | |
| | | 佐藤鶴谷編
昭和六年 | ペン字
一冊 |
| | | 大分県知事官房
昭和七年三月 | 一冊 |
| | | 郷土史料研究会編
昭和七年七月 | 一冊 |
| | | 郷土史料第一輯 | |
| | | 南海部都教育会編
昭和八年八月 | 一冊 |
| | | 衛藤庵著
大分新聞社出版部
昭和八年十一月 | 一冊 |
| | | 大江一二三編纂
歩兵第四十七聯隊発行
昭和九年四月 | 一冊 |

15

廣瀬家一門の光彩

—淡窓先生を中心として—

三五五

大分県日田郡教育会編

福岡市秀巧社印刷所

昭和九年十二月

一冊

16

山田内部落視察要覽

三六〇

昭和十年頃カ

油印

一冊

17

南豊歌人 二月号

三二二

南豊歌人社

昭和十一年一月三十一日

一冊

18

郷土通信

出征兵士慰問号

三五九

浦代青年団発行

昭和十三年七月十三日

油印

一冊

19

支那事変と無敵皇軍

三五八

宇都宮謙編纂

大分新聞社

昭和十三年十一月

一冊

20

大分県史蹟名勝天然記念並国宝概説

三四三

大分県

昭和十四年三月

一冊

21

皇祖御東征靈跡記

三二一

南海部郡大入島村大字久保浦一〇八八

高島理喜介発行

昭和十四年六月

一冊

22

風跡畑野浦

三二三

神武天皇御聖蹟入津地方顕彰会

昭和十五年一月

一冊

- | | | | |
|-----|------------------------------------|--|----------|
| 2 3 | 山田小太郎先生
Ⅲ五〇 | 井坂秀雄編
東京学仏会
昭和十五年一月 | 一冊 |
| 2 4 | 質素・儉約
時善・勉勵
Ⅲ三七 | 鶴藩略史 | 一冊 |
| 2 5 | 鶴藩略史
Ⅲ二四 | 医学博士増村隆也譯
佐伯史談会
昭和二十三年九月 | 一冊 |
| 2 6 | 佐伯の方言
Ⅲ一九 | 安藤正人
昭和二十四年七月二日～二十五年二月十八日迄ノ週刊佐伯切抜綴り | 一冊 |
| 2 7 | 善教寺縁起
Ⅲ一六 | 山田平之丞・平田幸而編著
昭和二十六年十二月 | 油印
一冊 |
| 2 8 | 大分県文化財保護関係例規集
附郷土文化研究者名簿
Ⅲ四五 | 大分県教育廳社会教育課
昭和二十六年十二月一日現在 | 一冊 |
| 2 9 | 大分年鑑
Ⅲ四七 | 大分合同新聞社
昭和二十七年四月 | 一冊 |
| 3 0 | 大分の林業 第十八号
Ⅲ四六 | 大分市堀川町大分県森林復興協会
昭和二十七年五月 | 一冊 |
| 3 1 | 佐伯
Ⅲ一七 | 大分県立佐伯鶴城高等学校史学部
昭和二十七年九月二十五日 | 油印
一冊 |

昭和二十七年九月二十五日

油印

一冊

3 2 佐伯文教の最盛期を省みて

―松下筑隆伝―

松下哲
昭和二十八年序

油印

一冊

3 3 佐伯藩の碩儒秋室

明石大助

柴田勝実著
佐伯文化史研究会
昭和二十八年四月

一冊

四七

3 4 南郡佐伯市産業展望

四一〇

産業経済調査会
昭和二十八年版

一冊

3 5 矢野龍溪先生を偲ぶ会

四四

主催 佐伯市教育委員会
昭和三十年六月十八日於業賢寺

油印

一冊

3 6 古市丘の九重の塔

四二一

柴田勝実稿
佐伯産業高等学校郷土史研究部
昭和三十年十月

一冊

3 7 郷土資料調査報告 一―二

四二一

NHK大分放送局郷土資料調査委員
昭和三十一年一月

一冊

3 8 郷土資料綜合調査

四二三

佐伯市
昭和三十一年一月

一冊

3 9 靈峰積魔

四一九

明治史談会編
勉強堂美術精版社
昭和三十一年八月

一冊

- | | | | | |
|-----|--------------------------------|---------------------------------|----|----|
| 4 0 | 佐伯偉人傳
Ⅲ一八 | 佐伯高校郷土史研究部
昭和三十一年 | 油印 | 一冊 |
| 4 1 | 重光向陽小伝
Ⅲ五四 | 豊田国男・西香山編
二豊の文化社
昭和三十三年九月 | 油印 | 一冊 |
| 4 2 | 郷土の先哲伝 1
毛利寛龍
中島子玉
Ⅲ三 | 佐伯小学校文化部
昭和三十三年一月 | 油印 | 一冊 |
| 4 3 | 大分県指定文化財史跡
白濁遺跡
Ⅲ二六 | 昭和三十三年三月二十五日指定
案内書 | | 一冊 |
| 4 4 | 大分県のすがた
Ⅲ四八 | 大分県調査広報課
昭和三十三年五月一日 | | 一冊 |
| 4 5 | 佐伯市西郊遊記
Ⅲ一五 | 羽榮弘編
鶴岡郷土史研究会
昭和三十六年二月三日 | 油印 | 一冊 |
| 4 6 | 堅田篇
お為半蔵 Ⅰ口説と解説 Ⅰ
Ⅲ二五 | 安藤正人編
昭和三十九年七月 | | 一冊 |
| 4 7 | 新編 惨風悲雨世路日記
Ⅲ二六 | 佐藤蔵太郎著
昭和四十年二月 | 油印 | 一冊 |

第二拾七版

- | | | | |
|-----|--------------------------------|-------------------------------------|----------|
| 4 8 | 秋室明石大助先生百年祭記念誌
明石秋室先生
Ⅲ九 | 佐伯史談会
昭和四十年十一月二十二日 | |
| 4 9 | 秋室遺稿 (秋室草)
Ⅲ八 | 明石肅 雨著
佐伯史談会
昭和四十年 | 油印
一冊 |
| 5 0 | 豊後国臼杵城主
太田一吉事蹟表
Ⅲ二八 | 村井強編
佐伯史談会
昭和四十一年九月 | 油印
一冊 |
| 5 1 | 大分県地方史第五十二号
Ⅲ四九 | 大分県地方史研究会
昭和四十四年三月 | 一冊 |
| 5 2 | 六代毛利高慶
Ⅲ二一 | | 油印
一冊 |
| 5 3 | 郷土佐伯の研究
Ⅲ一四 | 佐伯古代史、佐伯の儒者、佐伯市と
市役所のあゆみ等断編合冊 | 油印
一冊 |
| 5 4 | 民謡民芸
「志賀団七」おどり由来記
Ⅲ三二 | 大分県佐伯市商工観光課
おどり佐伯市荒瀬代婦人会 | 一枚 |
| 5 5 | 大分地方
郷土食
Ⅲ四四 | 大分県師範学校女子部助教
青木信子著
大政翼賛会大分県支部 | 一枚 |

IV 和本・書籍

- | | | |
|---|--|----|
| 1 | 宋名臣言行錄前集
IV八〇
(卷一・卷二)
近世後期
朱晦菴 | 一冊 |
| 2 | 日本風俗史 中編
IV二三五 | 一冊 |
| 3 | 萬國大年表
IV八一 | 一冊 |
| 4 | 日露戰爭史大全 上卷
IV五八 | 一冊 |
| 5 | 勝海舟
IV九四 | 一冊 |
| 6 | 松陰先生遺著第二編
IV一一五 | 一冊 |
| 7 | 詩禪一味
IV五一 | 一冊 |
-
- | | |
|-------------------------------------|----|
| 藤岡作太郎・平出鏗二郎
東陽堂支店
明治三十二年二月二十日 | 一冊 |
| 棚橋一郎・小川銀次郎
三省堂書店
明治卅六年六月二十日 | 一冊 |
| 宮部力次
博信館
明治三十八年四月十三日 | 一冊 |
| 民友社
明治卅九年六月五日 | 一冊 |
| 吉田庫三編
民友社出版部
明治四十二年十月十七日 | 一冊 |
| 鈴木子順
民友社
明治四十四年一月四日 | 一冊 |

8 学界の偉人

IV二二八

西村天因

東京梁江堂書店・大阪杉本梁江堂

明治四十四年一月廿五日

一冊

9 武士道

IV二二四

新渡戸稲造

丁未出版社

明治四十四年四月十五日

一冊

10 芭蕉句選年考 上卷

IV四四

大野酒竹・沼波瓊音

文成社

明治四十四年九月五日

一冊

11 第十二師團戰闘史

IV五六

佐藤嘉門

大分県大分市安部新聞舗

明治四十四年九月廿三日

一冊

12 大喪儀記録

IV一

小池信美

大阪朝日新聞合資会社

大正元年十一月二十五日

一冊

13 大将乃木

IV八

横山健堂

東京敬文館

大正二年二月五日

一冊

14 蛙のはらわた

IV一七

中村邁午

廣文堂書店

大正三年一月五日

一冊

15 家庭園築造法
IV二二二

16 船と人
IV九八

17 世界の變局
IV五三

18 新興文藝叢書第六編
初戀
IV一〇四

19 遠征記
IV六〇

20 伊勢神宮と神社
IV二二

21 名詩類選評釋
IV五一

近藤正一
博文官
大正三年五月三十一日

米窪滿亮
中興館書店・誠文堂書店
大正三年十一月廿四日

徳富猪一郎
民友社
大正五年十二月十日

森田草平
春陽堂
大正七年三月二十日

第二特務艦隊整理部
大正八年十一月十八日

鈴木暢幸
東京大正書院
大正九年三月廿八日

簡野道明
明治書院
大正九年十月十日

一冊

一冊

一冊

一冊

一冊

一冊

一冊

22 小さい心理學

IV一四五

後藤弘毅

廣文堂書店

大正十一年二月十五日

一冊

23 地方官生活と黨人氣質

IV九七

伊藤金次郎

大阪毎日新聞社・東京日日新聞社

大正十一年十二月二十五日

一冊

24 日本文学全書 第三編
十六夜日記・落窪物語・辯内侍日記

IV四二

萩野由之他

博文館

大正十二年四月一日

一冊

25 新文章講話

IV四八

五十嵐力

早稲田大学出版部

大正十二年五月十五日

一冊

26 十字街頭を往く

IV一〇三

厨川辰夫

福永書店

大正十二年十二月三十日

一冊

27 皇太子殿下御外遊記

IV六

二荒芳徳・澤田節蔵

大阪毎日新聞社・東京日日新聞社

大正十三年一月一日

一冊

28 皇太子殿下海外御巡遊日誌

IV七

宮内大臣官房庶務課

大正十三年五月三十日

一冊

29 杉浦重剛先生

IV二二五

大町桂月・猪狩史山

政教社

大正十三年八月廿日

一冊

3 0

山陽先生の幽光
IV二二七

光本鳳伏口述・山崎南岳筆記
広島市藝備日日新聞社
大正十四年四月廿五日

一冊

3 1

古建築巡禮
奈良及近郊之卷
IV一二二

服部勝吉

奈良市木原文進堂
大正十四年十月一日

一冊

3 2

戯曲 名和長年
IV一七八

幸田露伴

白揚社
大正十五年三月十日

一冊

3 3

商品と購買欲の研究
IV一三三

和泉明

大阪市文紙堂書店
大正十五年五月二十日

一冊

3 4

明治神宮外苑奉獻概要報告
IV五

明治神宮奉賛會
大正十五年十月

一冊

3 5

萬葉集の鑑賞及び其批評 (前編)
IV三九

島木赤彦

岩波書店
昭和二年三月二十日

一冊

3 6

歌謡俳書選集五
橋曙寛歌集
IV四六

藤井乙男

文献書院
昭和二年十月八日

一冊

3 7

米國怖るゝに足らず
IV六八

池崎忠孝

先進社
昭和四年十月十二日

一冊

3 8 米國怖るゝに足らず
IV六九

池崎忠孝
先達社
昭和四年十月廿六日

一冊

3 9 改訂版
神まうで

鐵道省
博文館
昭和四年十二月十八日

一冊

IV一三

昭和四年十二月十八日

4 0 裁判夜話

大森洪太

一冊

IV九一

日本評論社

昭和五年五月廿五日

4 1 傳八郎の疑問

直木三十五

一冊

IV八一

新潮社

昭和六年三月廿五日

4 2 巨人高峰博士

橋爪惠

一冊

IV八四

三共株式会社

昭和六年九月一日

4 3 漢口雄幸遺稿
隨感録

漢口富士子

一冊

IV七〇

三省堂

昭和六年九月十四日

4 4 太平洋戰畧論

池崎忠孝

一冊

IV五五

先達社
昭和七年三月八日

4 5 銃剣は耕す
IV六一

櫻井忠温
新潮社
昭和七年四月二日

4 6 水産学全集第九卷
最新漁撈學
IV一四一

長棟暉友
厚生閣
昭和七年八月十二日

4 7 新制西洋史
IV一四三

新見吉治
六盟館
昭和八年一月二十日

4 8 思想問題小輯一
教育關係に於ける左傾思想運動
IV三二

文部省
昭和八年三月三十一日

4 9 思想問題小輯一
我が國體及び國民性について
IV三二

西晋一郎
文部省
昭和八年三月三十一日

5 0 思想問題小輯三
思想問題と学校教育
IV三三

吉田熊次
文部省
昭和八年三月三十一日

5 1 思想問題小輯四
西歐近代思想と日本國體
IV三四

藤澤親雄
文部省
昭和八年三月三十一日

一冊

一冊

一冊

一冊

一冊

一冊

一冊

5 2

人生如何に生くべきか
IV九〇

石丸悟平
人生創造社

昭和八年八月十日

一冊

5 3

加藤司書傳
IV一一一

中野景雄

福岡市司書會

昭和八年十二月十五日

一冊

5 4

思想問題小輯五
國文學と民族精神
IV三五

久松潜一

文部省

昭和九年三月二日

一冊

5 5

思想問題小輯六
革命論
IV三六

平泉澄

文部省

昭和九年三月三十一日

一冊

5 6

本居宣長の人及思想
IV四七

小倉喜市

大同館書店

昭和九年六月廿五日

一冊

5 7

聖堂復興略志
IV二二九

聖堂復興期成會

昭和十年九月二十日

一冊

5 8

小泉八雲文學入門
IV一〇二

町野靜雄訳

金星堂

昭和十一年七月十日

一冊

5 9

隨筆草木志
IV一三七

牧野富太郎

南光社

昭和十一年七月二十五日

一冊

- | | | | |
|-----|-----------------------------|-------------------------------|----|
| 6 0 | 人生叢書第六編
ハイネ青春の書
IV一四七 | 百田宗治編
金星堂
昭和十一年十月二十日 | 一冊 |
| 6 1 | 續青年の書
IV八六 | 室伏高信
モナス
昭和十一年十二月十五日 | 一冊 |
| 6 2 | 山内一豊公夫人
IV一〇七 | 武田まつ
昭和十二年四月五日 | 一冊 |
| 6 3 | 樺太人物論
IV一四二 | 山野井洋
豊原市ポドゾル社
昭和十二年十月五日 | 一冊 |
| 6 4 | 戦時外交史話
IV六三 | 渡辺幾治郎
千倉書房
昭和十二年十二月二十九日 | 一冊 |
| 6 5 | 我が交遊録
IV八九 | 徳富猪一郎
中央公論社
昭和十三年三月六日 | 一冊 |
| 6 6 | 國民百人一首
IV七二 | 京都橋本閑雷
昭和十三年八月十五日 | 一冊 |
| 6 7 | 選集
倫理御進講草案
IV二二六 | 杉浦重剛
第一書房
昭和十三年十月五日 | 一冊 |

68	文祖菅公 IV一〇九	中野景雄 太宰府天満宮飛梅講社本部 昭和十四年一月一日	一冊
69	八軒長屋 後編 IV八七	村上浪六 明文館書店 昭和十四年二月二十日	一冊
70	貯金實話 IV五四	貯金局 昭和十四年三月二十五日	一冊
71	神武天皇御紀謹解 IV三八	檀原神宮社務所 昭和十五年一月十五日	一冊
72	全野口英世 IV一三〇	グスタフ・エックシタイン著 栗原古城・小田律訳 青年書房 昭和十五年五月五日	一冊
73	全滅の戦列 Iバルチック艦隊回航記 IV五七	フランク・テイエス著 大河原精一郎他訳 牧野書店 昭和十五年八月二十日	一冊
74	日本精神叢書四十二 幕末勤皇歌人集 IV七七	志田延義 内閣印刷所 昭和十五年九月八日	一冊

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------------|----|
| 8 1 | 回想
IV九五 | 小堀杏奴
東峰書房
昭和十七年十二月五日 | 一冊 |
| 8 0 | 島崎藤村文学読本
春夏の巻
IV八三 | 山崎斌
第一書房
昭和十七年 | 一冊 |
| 7 9 | 良寛の歌
IV一〇〇 | 須佐晋長
第一書房
昭和十七年十一月二十日 | 一冊 |
| 7 8 | 日本昆虫記
IV一三六 | 大町文衛
大阪市朝日新聞社
昭和十七年八月十五日 | 一冊 |
| 7 7 | 平田篤胤
IV一六 | 山田孝雄
歎傍書房
昭和十七年八月八日 | 一冊 |
| 7 6 | 句集 大月夜
IV九九 | 田村木園
大阪市山茶花発行所
昭和十七年四月一日 | 一冊 |
| 7 5 | 皇國文學2
古事記傳の研究
IV三七 | 六藝社
昭和十六年三月二十日 | 一冊 |

8 2 國民教養新書
渡辺華山の人と思想

IV一三三

田村榮太郎
今日の問題社
昭和十八年一月二十日

8 3 奈翁戦史略 上巻

IV一四六

梅崎延太郎
陸軍偕行社
昭和十八年三月十五日

8 4 梁川星巖

IV一八九

中谷孝雄
小学館
昭和十八年三月廿五日

8 5 國學進展物語第一部
契沖

IV七五

稲津廷一
晴南社
昭和十八年五月二十日

8 6 江田島精神

IV六五

中條是龍
大日本雄辯會講談社
昭和十八年六月一日

8 7 狂言鑑賞

IV四三

三宅藤九郎
わんや書店
昭和十八年六月二十五日

8 8 右大臣實朝

IV一〇五

太宰治
大阪市錦城出版社
昭和十八年九月廿五日

一冊

一冊

一冊

一冊

一冊

一冊

一冊

8 9 大東郷
IV六六

9 0 日露の戦闘書
IV五九

9 1 國史の話
IV一〇八

9 2 明治天皇御製謹話
IV一一

9 3 皇國頌詞
IV七一

9 4 久坂玄瑞
IV七四

9 5 高濱虚子
IV一〇一

小笠原淳隆
潮文閣
昭和十八年十二月一日

宇野千代
文體社
昭和十八年十二月五日

中村直勝
大阪市全國書房
昭和十八年十二月十日

千葉胤明
東京大日本雄辯會講談社
昭和十八年十二月十一日

山田孝雄
櫻書房
昭和十八年十二月二十五日

武田勤治
道統社
昭和十九年四月十日

大野林火
七文書院
昭和十九年四月十日

一冊

一冊

一冊

一冊

一冊

一冊

一冊

96

日本服飾史要
IV一三六

青木良吉

大日本文化研究會
昭和十九年四月十五日

一冊

97

日本精神叢書五十五
大日本史と水戸教學
IV七八

中村孝也

印刷局
昭和十九年五月十日

一冊

98

陸軍史談
IV六四

金子空軒

陸軍畫報社
昭和十九年六月十日

一冊

99

高山朽葉集
IV九六

福井久藏

山一書房
昭和十九年七月十二日

一冊

100

藤田東湖
IV一〇

肥後和男

新潮社
昭和十九年八月三十日

一冊

101

神社本義
IV九

神祇院

印刷局
昭和十九年八月三十一日

一冊

102

山陵の復古と蒲生秀實
IV一二

寺田剛・雨宮義人

至文堂
昭和十九年十二月一日

一冊

103 神社讀本
IV一〇

日本神祇會
東京日本電報通信社出版部
昭和十九年十二月三十日

一冊

104

近世日本
國民史

明治天皇御宇史
〔函館戰爭篇〕

徳富蘇峰

東京明治書院

昭和二十年四月十五日

一冊

105

日本國民童話十二講

IV一三三

島津久基

日本書院

昭和二十年九月二十日

一冊

106

西行法師全歌集

IV四一

尾山篤二郎

富山房

昭和二十年十月二十日

一冊

107

俗神道大意

IV一一

齊藤一寬編

日本電報通信社出版部

昭和二十年十月三十日

一冊

108

日本叢書六
すまひの傳統

IV一七

岸田日出刀

生活社

昭和廿一年二月廿日

一冊

109

日本叢書二八
夢日記

IV一九

藤森成吉

生活社

昭和廿一年二月二十日

一冊

110 日本叢書二三
續山莊記

IV一八

野上彌生子
生活社

昭和廿一年二月三十日

111 平和への努力

IV一四

近衛文麿手記

日本電報通信社

昭和二十一年四月一日

112 田中館愛橋先生

IV二〇

中村清二

鳳文書林

昭和二十一年四月五日

113 日本叢書四七
鏡花縁の話

IV二〇

松枝茂夫

生活社

昭和廿一年四月十五日

114 日本叢書五〇
麥刈の月

IV二二

尾崎喜八

生活社

昭和廿一年四月十五日

115 日本叢書六二
演劇藝術

IV二二

太宰施門

生活社

昭和二十一年五月十五日

116 先哲の学問

IV二二

内藤虎次郎

弘文堂書房

昭和二十一年五月廿日

一冊

一冊

一冊

一冊

一冊

一冊

一冊

117 日本叢書六八
續萬葉集より

IV二五

佐佐木信綱

生活社

昭和廿一年六月十五日

118 わが人生

IV八五

新島襄

大阪市全國書房

昭和二十一年六月二十五日

119 平和と俳句

IV一六

田澤武男

日本文化社

昭和二十一年七月十日

120 日本叢書六三
農業物理學雜誌

IV二三

中谷宇吉郎

生活社

昭和廿一年八月十日

121 日本叢書六四
梅園から淡窓へ

IV二四

長壽吉

生活社

昭和廿一年八月十五日

122 東洋史精粹

IV六七

松井等

日本圖書株式會社

昭和二十一年八月十五日

123 日本叢書八四
温故知新

IV二八

大塚彌之助

生活社

昭和廿一年九月五日

一冊

一冊

一冊

一冊

一冊

一冊

一冊

124 日本叢書七七
魚族の生態

IV二六

楡山善夫
生活社

昭和廿一年九月十日

一冊

125 甘話求題
あまいはなし

IV一三九

後屋敷保啓

交通日本社

昭和二十一年九月十五日

一冊

126 日本叢書八三
仁齋日記抄

IV二七

中村幸彦

生活社

昭和廿一年九月廿五日

一冊

127 日本叢書九一
骨董道の話

IV二九

谷信一

生活社

昭和廿一年十月廿五日

一冊

128 日本の祭

IV一三四

柳田國男

弘文堂書房

昭和二十一年十一月五日

一冊

129 日本叢書九四
向井去來

IV三〇

萩原井泉水

生活社

昭和廿一年十一月二十五日

一冊

130 ベルリ提督遠征記

IV一四四

合衆國海軍省編・大羽綾子訳

酣燈社

昭和廿二年二月十日

一冊

1 3 1 古今集・新古今集

IV四〇

久松潜一

至文堂

昭和二十三年八月五日

1 3 2 國史随想

—平安朝の卷—

IV七三

徳富猪一郎

實業舎

昭和二十三年十二月十日

1 3 3 名句評釋 上

IV四五

額原退蔵

大日本雄辯會講談社

昭和二十四年六月二十日

1 3 4 残骸物語

IV七六

河谷静夫

別府市新豊州社

昭和二十四年十月十日

1 3 5 小説 明治天皇

IV四

長田幹彦

東京光文社

昭和二十五年十月一日

1 3 6 朝日文庫 22
鬼 奴 他

IV九二

村上浪六

朝日新聞社

昭和二十六年一月十五日

1 3 7 新しい公用文の作り方

IV四九

原敏夫他

大日本雄弁會講談社

昭和二十七年六月十日

一冊

一冊

一冊

一冊

一冊

一冊

一冊

138

時代の一面

IV六二

東郷茂徳
改造社

昭和二十七年八月二十二日

一冊

139

お弁当のいろいろ

IV一四〇

御厨良子

日本教育会

昭和二十九年三月十五日

一冊

140

余録二十五

IV八八

丸山幹治

毎日新聞社

昭和二十九年八月二十五日

一冊

141

新聞語辞典 一九五五年版

IV九三

朝日新聞社

昭和二十九年九月十五日

一冊

142

世界文学全集7
ドストエーフスキイ

IV一四八

米川正夫訳

河出書房

昭和三十年四月一日

一冊

143

民謡パトロール

IV一三三

高橋均太郎

しなの書房

昭和三十年十二月五日

一冊

144

新しい日本の進路

―自由民主党の課題―

IV一五

廣瀬正雄

衆議院議員廣瀬正雄事務所

昭和三十一年十一月三十日

一冊

145

評論文の解釈と鑑賞

IV五〇

吉田精一

至文堂

昭和三十一年九月二十五日

一冊

1 4 6
水の炎
N一〇六

1 4 7
鑑賞啄木歌集
N七九

1 4 8
RENEW NATIONAL THIRD
READER
N一四九

V 逐次刊行物

1
一年有半
V一

2
小禽狩猟新書
V二

3
學生 第一卷第六号ナボレオン号
V三

4
時局に鑑み国民の自覚奮起を望む
V四

松本清張
光文社
昭和四十二年十月五日

CHARLES J. BARNES
AMERICAN BOOK CO
NPANY

中江篤介
博文館
明治三十四年九月

安部精一郎
青木嵩山堂
明治三十九年四月

東京富山房
明治四十三年九月十五日発行

社会局
昭和七年九月

一冊

一冊

一冊

一冊

一冊

一冊

一冊

5 組踊五番
V五

玉城朝薫作
沖繩書籍株式会社
昭和八年三月

一冊

6 満洲事変
国防獻品記念録
V三七

陸軍省
昭和八年八月

一冊

7 日本精神と聖徳太子
V一

富樫文能
真宗各派協和会
昭和九年三月

一冊

8 躍進日本と列強の重壓
V六

陸軍省新聞班
昭和九年七月

一冊

9 神武天皇子御東遷と日向国
V七

神武天皇御東遷記念一千六百年祭全
国協賛会
昭和九年九月

一冊

10 官報 号外 衆議院議事速記録
V八

内閣印刷局
昭和九年十二月六日／昭和十年一月
二十四日／昭和十一年五月八日／昭
和十二年九月六日

四冊

11 官報 号外 衆議院議事速記録
V九

内閣印刷局
昭和九年十二月六日／昭和十年一月
二十四日／昭和十年二月二十六日

三冊

1 2

週報

一・三・五・二十七・四十・四十四・
四十七・九十六・一〇〇・一九九

一五九冊

V 四一

内閣情報部編輯
内閣印刷局發行
昭和十一年十月十四日～昭和十五年
八月七日迄

1 3

文藝春秋

V 四〇

三八冊

第十五卷 九、十三、十五、十七号、昭
和十二年 八、十、十一、十二月 / 第十
六卷 三、五、八、十、十二、十四、十六
十八、二十、二十二号、昭和十三年
二、三、五、六、七、八、九、十、十一、十
二月 / 第十七卷 二、四、六、八、十、十
二、十四、十六、十八、二十、二十二、二
十四号、昭和十四年 一、二、三、四、
五、六、七、八、九、十、十一、十二月 /
第十八卷 三、五、六、八、九、十五号、
昭和十五年 一、三、五、七、八、十二月
/ 第十九卷 三、八号、昭和十六年 三
八月 / 第二十一卷 四号、昭和十八
年四月 / 第二十二卷 四号、昭和十八
年四月 / 第二十三卷 一、二、五号、昭
和二十年二月

1 4

事変下に海軍記念日を迎へて

V 三八

海軍省海軍軍事普及部
昭和十三年五月二十七日

一冊

1 5

話 臨時増刊 支那事変一年史

V 一〇

文芸春秋社發行
昭和十三年七月十日

一冊

16	温かい鍋物と汁物料理百種 V二二	主婦の友社 昭和十四年十月 主婦の友十一月号附録	一冊
17	大歌舞伎盆替興行 V二二	大阪歌舞伎座 （第四夢の井戸（上田秋成）絵入番組） 昭和十五年九月	一冊
18	傷痍軍人讀本第十三輯 明治天皇御聖徳の一端に就きて V一四	渡辺幾治郎 軍事保護院大日本傷痍軍人会 昭和十六年七月	一冊
19	撃滅 V一五	大本営海軍報道部 昭和十六年カ	一冊
20	国策標語年鑑 V三六	情報局第五部編集 内閣印刷局 昭和十六年十月	一冊
21	神社祭式行事故作法 V一六	明文社編集部編 明文社 昭和十七年十一月	一冊
22	陣中川柳 V一七	麻生路郎編 興亞書房 昭和十七年冬	一冊
23	愛国百人一首年表 V一八	久米正雄編 協栄出版社 昭和十九年一月	一冊

24 戦ふ國・戦ふ人
V一九

25 日本叢書一九
若菜頌
V二〇

26 日本叢書三四
明治回顧
V二一

27 初代日本切支丹史
V二二

28 藝林問歩
V三九

29 終戦の表情
V三三

30 公民叢書2
近代日本
V二四

櫻井忠温著
備成社
昭和十九年六月

橋内吉彦
生活社
昭和二十年十月

大類伸
生活社
昭和二十一年二月

タシナリ
ドン・ボスコ社
昭和二十一年五月

東京出版
昭和二十一年五・六・七・十・十一月、昭和二十二年一・二・三・五・六・七八(合併)・九十(合併)・十一・十二月

鈴木貫太郎述
労働文化社
昭和二十一年八月

鈴木安蔵
社会教育聯合会
昭和二十一年八月

一冊

一冊

一冊

一冊

一四冊

一冊

一冊

3 1	第一輯 史蹟の熊本 V二六	熊本市役所觀光課 昭和二十四年九月 (八雲と漱石)	一冊
3 2	教育広報 一三五号 V二七	大分県教育広報協会 昭和二十四年九月十五日	一冊
3 3	岩波写真文庫 4 魚の市場 V二五	岩波書店 昭和二十五年六月	一冊
3 4	鶴唳 第九号 V二八	佐伯市役所職員労働組合 昭和三十一年三月一日発行	一冊
3 5	関西大学法学会誌 第十号 V二九	関西大学法学会 昭和四十年三月	一冊
3 6	慈眼堂歌日記 V三〇	河野宗寛 昭和四十一年八月	一冊
3 7	小説現代 第四卷十二号 V三一	講談社 昭和四十一年十二月	一冊
3 8	オール讀物 第二十二卷一号 V三二	文芸春秋社 昭和四十二年一月	一冊
3 9	朝日ジャーナル臨時増刊号 ブックガイド 81知の事典 V三三	朝日新聞社 昭和五十六年三月二十五日	一冊

油印

4 0 一九九一年度
匠南区総会資料

V三三五

匠南クラブ
平成三年一月六日

油印 一冊

VI パンフ・案内・新聞

1 コレチオの華 四号・五号

VI二九

(四号) 昭和五年六月二十一日
(五号) 昭和五年十二月十六日

新聞 二部

2 神都口向

VI四

宮崎県
昭和七年三月三十日

小冊子 一冊

3 1 1 満洲事変勃発満一年

VI八一

陸軍省
昭和七年九月十六日 (代贖写)
115は袋に一括

小冊子 一冊

1 2 満洲事変勃発二年

VI八一

陸軍省
昭和八年九月十六日 (代贖写)

小冊子 一冊

1 3 満洲事変勃発満三年

VI八一

陸軍省
昭和九年九月十八日 (代贖写)

小冊子 一冊

1 4 日露戦後二十九年
皇国は太平洋時代の世界軸心に立つ

VI八一

陸軍省
昭和九年三月十日代贖写

小冊子 一冊

1 5 日露戦後二十九年
満蒙は輝きに満つ

VI八一

絵葉書 一枚

4	全日本最新名勝・名物地図 VI一〇	大阪毎日新聞社 昭和七年九月五日	地図	一冊
5	海行かば 創刊号 VI三〇	海軍省構内海行かば発行所 昭和七年十月一日付	新聞	一部
6	東国東郡名勝古蹟案内 VI五	東国東郡教育会 昭和八年一月	小冊子	一冊
7	日露戦後二十八年 滿蒙は平和の建設へ VI七	陸軍省 昭和八年三月代贈写	小冊子	一冊
8	佐世保海軍人事部 部報第廿一号 VI二八	佐世保海軍人事部 昭和八年七月一日付	新聞	一部
9	滿洲派遣間歩兵第四十七聯隊年表 VI二六	昭和八年十二月六日調製	一紙印刷	一枚
10	かんいほけん 創業記念報 VI三一	熊本逓信局 昭和十一年十月一日	新聞	一部
11	静岡の物産 VI六	静岡市役所 昭和十六年三月	小冊子	一冊
12	朝日新聞号外 VI二七	昭和十六年四月十四日 日ソ中立条約調	新聞	一部

13	おおいた VI-〇	大分県 昭和三十二年三月	小冊子 一冊
14	〔広瀬淡窓詩（複製）〕 VI-一八	日田文化協会 昭和三十三年四月	色紙 一点
15	〔佐伯市観光案内パンフレット一括〕 IV-二三	昭和三十六年五月四日、佐伯市歌誕 生記念に贈答されたもの 昭和四十六年五月二日から同年六月 二〇日まで	一袋 十六点 新聞 四部
16	週刊ポケット 六五三・六五八・六五九・六六〇号 VI-三一		
17	二豊路の天皇・皇后さま VI-一	大分県	小冊子 一冊
18	史蹟 咸宜園御菜 VI-一一		小冊子 一冊
19	2 字目の唄げんか VI-一二	大分県南海部郡宇目村役場	小冊子 二冊
20	1 観光佐伯歌の葉 VI-三	佐伯市商工観光課	小冊子 一冊
	豊後水道 大分県自然公園資料第三輯 VI-九	大分県土木部計画課	小冊子 一冊

2 1	赤十字の話 — 講話の資料 — VI—一	日本赤十字社 外にチラシ二枚、日本赤十字社概要 一枚を含む	小冊子 袋入	一冊
2 2	高野山 VI—二	外に団体写真一枚、東京タワー関連 の小冊子一冊を同封	小冊子 袋入	一冊
2 3	〔神戸市観光パンフレット〕 VI—四	神戸市観光係 小竹小学校へ送付されたもの	袋入	三点
2 4	〔神戸市観光パンフレット〕 VI—五	神戸市役所観光係 小竹小学校へ送付されたもの	袋入	三点
2 5	〔阿蘇山観光パンフレット〕 VI—六	大阿蘇登山バス営業者より小竹実業 補習学校へ送付されたもの	袋入	三点
2 6	〔観光パンフレット一括〕 VI—七	佐伯市四点・宇目村一点・参宮急行 名所園絵一点・臼杵市二点・日田市 三点・耶馬溪一点・別府市二点・九 重一点・大分県一点・雲仙一点・宮 崎二点・その他二点	一括	二二点
2 7	〔熊崎駅周辺略図〕 VI—九	書簡の一部カ	算紙	一枚
2 8	〔広告・ピラ等一括〕 VI—一		一括	一九点
2 9	〔広報・案内等一括〕 VI—二		一括	三点

30

〔雑誌切抜〕

VI二三

31

〔野球スコア〕

VI二四

法政大学と早稲田大学の分
切手貼付あり

切抜 八点

32

大分県小学校教員
精神作興大会次第

VI二五

一紙 二枚
ペン書き
一紙 一枚

VII 絵葉書・写真

1

記念写真帖

VI五六

大分県南海郡
大正十五年六月

写真帖 一冊

2

昭和八年十一月五日
会館落成紀念

VI四五

大分県教育会
外に案内状三枚あり

絵葉書 四枚
一袋

3

院舎落成記念

VI四七

大分県立大分少年看護院
昭和十四年九月

袋のみ 一点

4

大楠公
忠烈絵葉書

VI一

別格官幣社湊川神社

絵葉書 五枚
一袋

5

忠霊塔絵端書

VI二

財団法人大日本忠霊顕彰会

絵葉書 八枚
一袋

14	日光	VI二	繪葉書 一二枚
13	国を護った傷兵護れ	VI一〇	繪葉書 三枚
12	別府風光大集	VI九	繪葉書 一二枚
11	歌舞伎座 雁の美観	VI八	繪葉書 七枚
10	親劇記念 神戸名所繪葉書	VI七	繪葉書 一四枚
9	萬松山泉岳寺 義士墓登記念繪葉書	VI五	繪葉書 六枚
8	萬松山泉岳寺 義士墓登記念繪葉書	VI六	繪葉書 六枚
7	強い身体は皇国の柱	VI四	繪葉書 四枚
6	都名勝	VI三	繪葉書 一八枚

大分県

傷兵保護院

1 5	方言葉書 鹿兒島言葉 Ⅵ二一		繪葉書 一袋	四枚
1 6	教育漫画 海軍生活全集 Ⅵ二三		繪葉書 一袋	三〇枚
1 7	觀光の江之島 Ⅵ二四		繪葉書 一袋	一〇枚
1 8	大阪風景 Ⅵ二五		繪葉書 一袋	二二枚
1 9	大阪府献上 歴史絵はかき Ⅵ二六		繪葉書 一包	二二枚
2 0	中国風景着色画片 Ⅵ二七		袋のみ	一点
2 1	満洲の印象 Ⅵ二八	南満洲鉄道株式会社	繪葉書 一袋	三枚
2 2	白杵名所繪葉書 Ⅵ二九	白杵町役場発行	繪葉書 一袋	五枚
2 3	吉田風景繪葉書 Ⅵ三〇	伊子吉田町芝葉店発行	繪葉書 一袋	一〇枚

- | | | | |
|-----|----------------------------------|------------------------|---------------|
| 2 4 | 奉天城外風酸き新戦場
北大宮の戦跡を訪ふ
VII-二 | 外に旅順戦跡写真カード一袋三枚入
あり | 繪葉書 四枚 |
| 2 5 | 大連名勝二十景
VII-三 | | 繪葉書 一一枚
一袋 |
| 2 6 | 神都宮崎
VII-三三 | 宮崎市役所発行 | 繪葉書 六枚
一袋 |
| 2 7 | 日産化学工業株式会社
高松炭礦風景
VII-二四 | | 繪葉書 一〇枚
一袋 |
| 2 8 | 満洲のお祭り
VII-二五 | | 繪葉書 五枚
一袋 |
| 2 9 | 平壤名勝繪葉書
VII-二六 | | 繪葉書 四枚
一袋 |
| 3 0 | 海軍大演習大観鑑式全集
VII-二七 | 艦隊配置図一枚別により | 繪葉書 三一枚
一袋 |
| 3 1 | 義民宗吾
繪物語
VII-一八 | | 繪葉書 一五枚
一袋 |
| 3 2 | 大東京
VII-一九 | 東京都京橋中村興文堂発行 | 繪葉書 二〇枚
一袋 |

3 3	大名古屋 Ⅶ三〇	繪葉書 一二枚
3 4	大大阪 Ⅶ三一	繪葉書 九枚
3 5	中部支那風俗 Ⅶ三二	繪葉書 八枚
3 6	觀光の奉天 Ⅶ三三	繪葉書 一枚
3 7	支那情緒 Ⅶ三四	繪葉書 七枚
3 8	大阪毎日新聞百萬部突破 祝賀記念 Ⅶ三五	繪葉書 五枚
3 9	日本ラインの風光繪葉書 Ⅶ三六	繪葉書 一二枚
4 0	八面山古池決潰災害実況 Ⅶ三七	繪葉書 六枚
4 1	金刀比羅繪葉書 Ⅶ三八	繪葉書 二四枚
4 2	豊原の印象 Ⅶ三九	繪葉書 一枚

大分県下毛郡山口村役場発行

43	竹田山莊繪葉書 Ⅷ四〇	袋のみ	一点
44	大東亞戰爭第一周年記念 軍人援護運動繪葉書 Ⅷ四一	恩賜財団軍人援護会 袋のみ	一点
45	熊本貯金支局庁舎落成記念 Ⅷ四一	繪葉書 一袋	三枚
46	滿洲風俗 Ⅷ四三	繪葉書 一袋	一枚
47	郷土六偉人肖像 Ⅷ四四	大分県教育会 その外、新聞切抜一枚、祭典式次第一枚あり 繪葉書 一袋	五枚
48	名古屋汎太平洋平和博覧会 Ⅷ四六	繪葉書 一袋	三枚
49	松本名所 Ⅷ四八	繪葉書 一袋	八枚
50	耶馬溪 羅漢寺の美観 Ⅷ四九	繪葉書 一袋	六枚
51	観光の宇和島 Ⅷ五〇	繪葉書 一袋	九枚

5 2 葉書
Ⅶ五二

5 3 繪葉書 一括
Ⅶ五二

5 4 繪葉書 一括
Ⅶ五三

5 5 〔社参団体写真〕
Ⅶ五四

5 6 〔昭和天皇写真〕
Ⅶ五五

VIII 古文書

1 女郎大明神由来記
Ⅶ一

2 〔書状〕
Ⅶ二

山田平之丞作成
未使用

但し切手貼付あり

外に「第二十四回大分県遠族靖国神社参拝団員名簿」(二冊)あり

葉書 一八枚
袋入

繪葉書 一八枚
一括

繪葉書 九八枚
一括

写真 七枚
袋入

写真 二枚

一紙 一枚
一六〇×二二〇

一紙 一枚
一八一×二〇六

立野芝恵より佐藤多作様宛
五月十日
餅一重ほか贈与に対する返礼

3	〔書状〕 Ⅷ三	小森経吉より佐藤芝様宛 五月六日 豊前豊農老人出向、俳諧稽古の件な どに付世話の依頼、末尾に短歌あり	一紙 一八〇×六六、二
4	〔書状〕 Ⅷ四	畑野浦・鉄砲町・両本町の近況報告、 孫左衛門御世話の件。 後欠、また、前後の關係不明	一紙 一四、五×五七、〇
5	〔書状断簡〕 Ⅷ五	「小そでの御ふひちやう」、孫左衛 門のこと	一紙断簡 一枚 一五、五×六六、〇
6	〔書状断簡〕 Ⅷ六	「せんのだよりの文」など 4-6は同一人物の手になるものか	一紙断簡 一枚 一五、五×六六、三
7	〔書状断簡〕 Ⅷ七	「のおとあいはて申候」	一紙断簡 一枚 一四、二×三三、五
8	〔書状断簡〕 Ⅷ八	機嫌何い、とく様ほか、後欠	一紙断簡 一枚 一四、二×六六、〇
9	〔書付〕 Ⅷ九	「仁右衛門との今日あいはて候」な ど、断簡カ	横折 一四、二×四二、〇
10	〔江戸幕府老中書状〕 Ⅷ一〇	松平伊豆守信明（花押）より稲葉伊 予守殿宛 十二月三日 蜜柑二籠進上の返札	折紙 二〇、二×六六、〇 一枚

1 1 [古実引歌]伝書

Ⅷ一

「石井治兵衛先生伝也」、歌の免許状写
寛政九巳年四月

一紙 一枚
一四一×三五五、二

1 2 蒲江浦沖江異国船漂流乱暴之節入津浦組江御出馬御行行列帳

Ⅷ一二

嘉永六丑年九月
浅沢弘以下行列付立帳

横帳 一冊
二三、五×六、〇

1 3 [志賀島金印ほか解説書]

Ⅷ一三

神切皇后使用の鐘、埴輪人形などを
図指解説する。「石川」の印鑑あり、
断簡

一紙 三枚
二四、四×二七、〇

1 4 御家譜

Ⅷ一四

毛利藩主及び家臣の家系図、享保期頃まで

整帳 一冊
二四、二×二六、四

1 5 午歳御用扣

Ⅷ一五

因尾村組
文化七年正月吉日
1と2をはさみ込む

整帳 一冊
二六、三×三三、〇

1 1 人別払手形之事

Ⅷ一五、一

堅田村組城村庄屋源太郎(印)より
因尾村組羽木御庄屋宛
文政五年十二月
城村庄兵衛家内万吉郎女房不縁に付
人別払手形のこと

一紙 一枚
二七、八×三〇、〇

1 2 人別請手形之事

Ⅷ一五、二

因尾村組大庄屋孫治郎(印)より大坂本村組大庄屋宇兵衛殿宛
巳十二月
大坂本村長畑政平、因尾村組堂間久兵衛家内と縁付に付人別請手形之事。
ヌレあり

一紙 一枚
二七、五×三三、二

16 諸木問答稿 全
Ⅷ一六

17 海部郡志 四
Ⅷ一七

18 東照宮御遺訓 卷之上
Ⅷ一八

19 神社取調帳
Ⅷ一九

20 神社取調帳
Ⅷ二〇

21 神社取調帳
Ⅷ二一

22 神社取調帳
Ⅷ二二

23 新陸社基礎法定則
Ⅷ二三

関谷善左衛門・関谷七兵衛
文政二年卯年二月

御諸木方仕入銀勘定に付ての問答、
加高屋吉兵衛より仕入。文政七年八
月吉田青右衛門筆者の奥書きあり

豊後国志卷之四の写本

表紙を欠く、「他見無用 此主湯村
氏宝巻」の奥書あり

切畑村橋迫武男

明治三庚午年十二月

切畑村橋迫長門

明治三庚午年十二月

片野浦柴田讃岐

明治三庚午年十二月

蒲江浦定田備前(平盛吉)

明治三庚午年十二月廿一日

裏表紙を欠く

親睦社十九戸中嶋熊一郎(印)ほか

連著
明治十二年一月五日

表紙に印鑑あり、添定則二枚はさみ
込みあり

縦帳 一冊
三七、二〇三、二

縦帳野紙 一冊
二五、三〇一、〇

縦帳 一冊
三七、二〇二、八

縦帳 一冊
三七、五〇三、〇

縦帳 一冊
二八、五〇三、〇

縦帳 一冊
二六、〇〇二、八

縦帳 一冊
二六、〇〇二、五

縦帳 一冊
二七、八〇三、三

2 4
社寺明細帖
Ⅷ二四

2 5
水産科教授細目 全
Ⅷ二六

2 6
小竹尋常小学校出身支那事変関係
応召者名簿
Ⅷ二五

Ⅸ 書簡

1
立候補趣旨書
Ⅸ一七

2
大分測候所発表 熊本放送局放送
天気予報二関スル記録 NO. 1
Ⅸ二一

3
大分測候所発表 熊本放送局放送
天気予報二関スル記録 NO. 2
Ⅸ二二

米水津村役場(印)
明治三十九年六月
米水津村役場用箋に記す

大分県南海部郡小竹尋常小学校編
昭和八年九月

昭和十二年九月五日現在
帰郷、戦死などを記す

昭和四年五月
山田嘉作米水津浦村会議員選挙に付
て、様式のみ

昭和七年七月
大分測候所所長山川軍治の書簡添付
あり、但し、調査記録送付願

昭和七年八月
八月二十四日付山川軍治書簡あり、
子報調査送付の謝状

縦帳 一冊
三、八×六、八

書冊ガリ版一冊
縦帳録紙 一冊

一紙 一枚
封筒あり

冊子 一冊

冊子 一冊

4	大分測候所発表 熊本放送局放送 天気予報二関スル記録 Ⅲ三〇	大分県南海部郡小竹尋常小学校 昭和八年三月	一冊
5	〔電報〕 Ⅹ一八	池部より「コタケ コウテウ」宛 (昭和)八年二月二三日 皇太子殿下誕生	電報 一通
6	九州方言調査表 Ⅹ一三	昭和九年四月三十日 九大法文学部吉町教授委嘱	冊子 一冊
7	〔電報〕 Ⅹ九	「オウイタシ アベマサユキ」より 「ヤマダ ハイノジョウ」宛 (昭和)十二年一月一日 年賀状	電報 袋入 一通
8	七曜表 Ⅹ一九	東京開成館 昭和十二年一月一日	印刷 一枚
9	山田平之丞宛葉書 Ⅹ一		葉書 二三四通
10	山田かよ子宛葉書 Ⅹ二		葉書 三五通
11	山田昭一郎・洋平・明子宛葉書 Ⅹ三		葉書 三〇通
12	山田稔宛葉書 Ⅹ四		葉書・四通 ダイレクトメール

13 小竹小学校（職員・生徒一同）宛葉書
Ⅹ五

14 佐伯市役所宛葉書
Ⅹ六

15 木村忠一宛葉書
Ⅹ七

16 山田敬之助他宛葉書
Ⅹ八

17 〔封筒〕
Ⅹ一〇

18 山田平之丞宛書簡
Ⅹ一四

19 小竹小学校宛書簡
Ⅹ一五

20 宮下文平宛書簡
Ⅹ一六

葉書 二九通

葉書 五通

葉書 二通

葉書 一八通

封筒 三通

書簡 一三通

書簡 二通

書簡 一通

X その他（スクラップ・器物）

6	5	4	3	2	1
扇子 X六	新聞スクラップ X五	新聞スクラップ X一	うをどり(一) X二	六大学野球 X三	天子様の九州おいでまし X四
					昭和二四、初夏
					昭和二十六年秋のシーズンから
					昭和二三、早春
					「独歩雜記」のスクラップ
					毛利高範古希記念の扇子
					新聞 一冊
					スクラップ
					新聞 一冊
					スクラップ
					新聞 一冊
					スクラップ
					帳面 八冊
					新聞 一冊
					スクラップ
					箱入 二枝

山田平之丞氏旧蔵資料目録
—— 佐伯市文化財調査報告書 ——

平成 9 年 3 月 31 日 発行 【非売品】

編集： 佐伯市教育委員会
発行： 佐伯市中村南町 4 番 1 号 (〒876)
電話 (0972) 22-3111

印刷： 有限会社 ウエムラデザイン
佐伯市野岡町 2 丁目 5 番 8 号
電話 (0972) 22-6776